

《 コラム 》 Vol.50

タイの大洪水（その2） 洪水中のコンサート

2011年、タイの大洪水。

当時はアユタヤという町に住んでおりましたが、町全体が洪水の被害に。洪水が起きて数ヶ月は「ノビサック」製造工場近くの田舎町に住むことに。洪水はタイの北部から南部に広がっていきました。工場のある田舎町はアユタヤよりも東に位置しており、洪水を逃れることができました。しかし、アユタヤの南部には首都バンコクがあります。

そんな時、思い出しました。

Yanni（ヤニー）というミュージシャンのコンサートがバンコクで開催されることを。

そして、S席のチケットを既に購入済み。

なんとその価格 5,000 バーツ！（当時のレートで約 15,000 円）

一般庶民にはとても大きな金額、絶対に元を取らねばなりません！

コンサートの開催状況を調べてみると、なんとか開演されるとのこと。

でも洪水が迫っております。

果たしてコンサートを見に行けるだろうか・・・、気がかりでした。

Yanni は世界の著名な建造物の前でコンサートを開催するミュージシャンとしても有名です。

ギリシャの「アクロポリス」、インドの「タージ・マハール」、中国の「紫禁城」など。

日本では 1995 年に京都の「東寺」でコンサートを開催したことがあります。

Yanni は海外のミュージシャンを引き連れてコンサートを行っておりますが、2006 年頃のコンサートでは、日本人バイオリニストの「香月さやか」さんが加わっております。

<https://www.youtube.com/watch?v=BNi9fOjXx-Y>

コンサート当日、バンコクに洪水が迫ってきております。

田舎町からバンコクまで約 70 km。

幹線道路は洪水で通れないので、裏道を通るしかありません。

その裏道も洪水でいつ通行止めになるか分かりません。

車の運転手に、「危ないようだったら引き返して」と告げ、いざ出発。

かなり時間が掛かりましたが、洪水地帯を回避して何とかコンサート会場へ辿

り着きました。

開演の 20 : 30 までに 1 時間近く時間があつたので、軽くビールを飲んで一息。
そしてコンサートが無事に開演、最高でした。

めでたし、めでたし・・・でしたが、
コンサート中盤、先程飲んだビールが身体から出たがっております。
曲の合間を見つけてそそくさとトイレへ行くことに。

コンサートの邪魔にならないように席を立ち、中腰で会場を出ようとした時でした。

会場内の多方から鋭い視線を感じました。
特に出口に立っているセキュリティーらしき男性から。
タダならぬ雰囲気をもよおし、そそくさとトイレへ駆け込みました。
このときの感じた「凍り付くような視線」には訳がありました。

無事にコンサートを楽しんだ翌日、工場の事務員さんから話かけられます。

「昨日のバンコクのコンサートの記事が大きく新聞に載っています！」
おお～、Yanni のコンサートの記事になるとはすごい！
と、思ったのは束の間。
新聞の記事の内容は・・・
当時タイで初めて当選した女性のインラック首相が、
なんと Yanni のコンサートを鑑賞しておりました！
しかし、「首相、洪水問題をよそに音楽鑑賞」と、揶揄されるような記事でした。
お偉いさんは何をやっても大変ですね。

昨日の Yanni のコンサート、首相も近くで鑑賞していたことになります。
そして分かりました。

「凍り付くような視線」は、おそらく首相を護衛する SP の方々でした。
無事にトイレに行けて良かったあ～。

話が長くなりますので、今回はこの辺で。